

オペレーション業務の効率化 飲食オーダーの向上に大きく貢献



▲店長の小林俊男氏

住宅街立地のカラオケボックス オペレーションは主婦が中心

今回の「スーパースターシリーズ」導入店レポートは、東武スカイツリーライン蒲生駅から徒歩約3分の住宅街で地域密着型運営を武器に営業を行なう「カラオケニュードレミファ蒲生店」(18ルーム)だ。開業は15年以上も前にさかのぼるが、経営会社の撤退を受けてテナントビルオーナーの(株)丸恵が2009年1月に経営を引き継いでいる。

首都圏郊外の住宅街という立地特性上、メイン客は周辺住民となるが、学生、ファミリー、シニア層と幅広い客層に支えられている。また朝の6時まで営業しているため、深夜2～3時に来店する飲食店関係者の利用も多いという。

同店の運営面での特徴は、40歳代の主婦層を中心にオペレーションを行なっていることだ。スタッフ18人のうち主婦層が過半数を占め、休日勤務をはじめ深夜勤務もこなしている。



▲「スーパースターシリーズ」のPOSシステムの導入で業務効率が向上

業務の効率化 顧客へのPR不足が課題

同店では今年3月26日に「スーパースターシリーズ」のPOSシステムを稼働させたが、店長の小林俊男氏は導入経緯について次のように語る。

「経営を継承したときは13ルームでしたが、その後5部屋増設しました。それにもない客数が増えていくなかで、それまで使用していたソフトでは売上げの集計管理など十分に対応できていませんでした。以前、私が務めていたカラオケチェーン店でスターランドさんのPOSシステムを使っていてこともあり導入を決めました。スタッフの間でも受付けや精算業務がやりやすくなったと高い評価を受けています」。

POSシステムと同時に飲食オーダー端末も全室に導入している。従来はインターフォンで飲食オーダーを受けていたが、繁忙期にはインターフォンが鳴っていてもすぐに対応できず、インターフォンが切れてしまい



▲飲食オーダーのロス解消に貢献するオーダー端末



▲アットホームな雰囲気が好評のカラオケルーム

オーダーのロスが生じていたという。

「カラオケの最中にインターフォンのある場所に行ってオーダーするのが面倒くさいというお客さまもおられます。オーダー端末の導入で確実にオーダーを受ければ、そうしたロスは解消されます。大手チェーン店を含め、この周辺のカラオケボックスでオーダー端末を入れている店は当店以外にありませんので、差別化にもつながっています」。

ただ課題もある。オーダー端末の導入に際して客に対して告知しなかったため十分に認知されず、インターフォンによるオーダーがまだ少ない点だ。今後は各客室にPOPを配置して認知度を高め、業務効率と売上げアップを目指す方針だ。

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケ施設ほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ

(株)スターランド
〒426-0037
静岡県藤枝市青木3-14-1

☎ 0120-007-009
FAX▶ 054-644-5034
URL▶ <http://www.starland.co.jp>